※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | 3005 |
|---|---|

# 令和５年度　建築科

| 教科 | 工業 | 科目 | 設計技術 | 単位数 | ２単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | | | | | | | |
| 副教材等 | 学校作成教材 | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

大学や専門学校が主催する、建築設計競技への取り組みを通して自ら考えたアイデアを企画・立案します。設計案を制作する能力と、図面や模型として表現する能力を身につけます。思考と表現を繰り返して設計案を洗練させていくので、主体的に課題に取り組む姿勢が重要です。

## ２　学習の到達目標

・設計協議を通して、建築図面を表現する知識・技術を身につけ、設計競技の上位入賞をめざす。
・設計案を洗練させるため、ゾーニングやブロックプランなどの思考・判断を繰り返し、図面として表現できる。
・建築設計について、インターネットや建築専門誌を活用するなど自ら学び、建築設計における設計案の図面・模型制作に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

## ３　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技術 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 建築に関する基礎的な知識を身につけ、現代社会における建築の意義や役割を理解し、設計課題に関わる条件を円滑にまとめて、設定された条件に対して合理的な案の提示ができる。それらを図面で表現する技術や技能を身につけている。 | 設定された条件での問題解決をめざして思考を深め、建築物に関する基礎的な知識の習得をもとに、建築物の設計案を判断する。その内容を適切に表現できる模型・3DCG・パースなどの技能を身につけている。 | 建築物の図面や構造に関心をもち、これらに関する基礎的な知識の習得に意欲をもって取り組むとともに、主体的に設計課題に取り組む態度を身につけている。 |

上に示す観点に基づいて学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 前期 | 建築設計に必要な手法 | ・スケール<br>・単位空間<br>・各種図面の表現<br>・設計のプロセス | a:建築物の設計に関する基礎的な知識を理解している。<br>b:建築の図面に関する表現方法を身につけている。<br>c:建築物の用途や役割に関心をもち、設計に活用しようとする態度を身につけている。 | 学習状況の観察<br>課題作品 | 学習状況の観察<br>課題作品 | 学習状況の観察<br>課題作品 |
| | 設計演習（木造住宅の設計） | ・情報の収集<br>・コンセプト立案<br>・エスキスの制作<br>・模型・パースなどの制作<br>・提出作品の完成、振返り | a:課題の条件を理解し、建築物の設計に関する基礎的な知識や技術を習得している。<br>b:建築物を観察し、構造や用途について考え、自ら構想する建築物に適する間取りを考え、提案できる能力を身につけている。<br>c:建築物の図面や構造、表現に関心をもち、基礎的な知識やの習得に意欲をもって取り組んでいる。 | 学習状況の観察<br>課題作品 | 学習状況の観察<br>課題作品 | 学習状況の観察<br>課題作品 |
| 後期 | 建築設計競技への参加 | ・課題及び過去入選作品の分析<br>・情報の収集<br>コンセプト立案<br>・エスキスの制作<br>・模型・パースなどの制作<br>・提出作品の完成、振り返り | a:設計課題の条件を理解し、建築物の設計に関する基礎的な知識や技術を習得している。<br>b:建築物を観察し、構造や用途について考え、自ら構想する建築物に適する間取りを考え、提案できる能力を身につけている。<br>c:建築物の図面や構造、表現に関心をもち、基礎的な知識の習得に意欲をもって取り組んでいる。 | 学習状況の観察<br>課題作品 | 学習状況の観察<br>課題作品 | 学習状況の観察<br>課題作品 |

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度